



noteでも猿払をもっと好きになる

noteとは、文字や写真、音声などを投稿することができ、ブログのようなサービスです。村が運営することで目指すことは2つあります。1つ目は、村民や猿払のことを知っている人に、猿払のことをもっと広く、深く知ってもらうこと。そして、全ての方に猿払の過去、今、未来をお届けしてさらに愛着を持っていただくことです。2つ目は、まだ猿払を知らない人に認知していただくことを目指します。ホタテ、イトウ、エサヌカ線をきっかけに猿払をご存知の方もいますが、全国的に見るとまだまだ知名度は高いとは言えません。

では、どのような投稿をしていくのか説明します。1つ目は、新たな取り組みや注目のイベント、村の知られざる仕事などを深掘りしてお伝えします。例えば、新産業創出プロジェクトや広報猿払制作にまつわる取材や編集の裏側など。2つ目は、村の施設やグルメ等、村民も村外の方も楽しめる記事を投稿します。3つ目は、みなさんに向けてちよつとためになる話。健康やスポーツに関する投稿も検討しています。現段階では、このような記事を投稿していく予定ですが、継続していく中で変化していくものと考えています。

まずは継続することを目標に毎週水曜日に定期投稿をしていきます。その他にも、お伝えしていくべき内容が出てきたら随時投稿することとします。

村民の皆さんはもちろん、全国の皆さんに楽しんでいただけるような記事を投稿できるように、5人の担当スタッフ一同で取り組んでいきます。ぜひ、アカウローしてくださいね。

アクセスはこちらから！



時事雑感

今月の特集は「男女平等参画社会」についてでした。今では「ジェンダー・フリー」という言葉が社会的にも幅広く浸透し、女性が働く・活躍することが増えてきていると感じます。しかし、「男性が育児休暇を取得する」と聞いた時に皆さんはどう感じますか？数ヶ月前に、某テレビドラマ（逃げ〇〇）のストーリー中に「男性の育児取得」についてスポットが当てられ、その中で「そもそもなんですけど、

仕事を休めないってこと自体が異常ですよ」というフレーズが印象的に感じました。また、日本の男性が育休を取得する割合も「女性が80%超」に対し、「男性が6～7%程度」と大幅に低い状況です。わたし自身も、男性・女性が、職場や学校、地域や家庭の中でそれぞれの個性と能力を発揮できる「本当の男女平等・共同」とは何かを改めて考えさせられました。皆さんもこの推進週間を通して考えてみるのはいかがでしょうか。[K]